

青森ライフプロダクト開発技術に関する研究

Study on technology for 'Life-product' development

赤田朝子、岩間直子、平山智代、宮下育也

県内の美容健康関連企業の競争力を強化するため、新機能性表示へ対応できる人材の育成を支援し、弘前地域研究所に新たに整備された美容・健康実証施設を活用して試験生産等を支援するとともに、プロテオグリカン（PG）の次を担う素材を検索・選定することを目的に、県の委託を受けて2か年の事業の最終年度として実施した。

県内のPG配合商品の製造・販売企業等を対象に、本年度は4回の技術習得講座を開催した。増粘剤（水溶性高分子）と保湿剤、化粧水の試作とテクスチャー評価、肌の保湿評価法、農産物・食品中の抗酸化能測定法、打錠機を用いたサプリメントの試作と評価等について、講義と実習を行なった。平成27年度に創設した「美と健康機能性研究会」の勉強会を2回開催し、3名の外部講師が「機能性表示食品制度」に関する最新情報や適正広告、「青森県産の機能性食品素材」について講演し、青森産技の研究員が「県産機能性素材の探索」、「PG研究の最新情報」や「企業とタイアップした商品開発」等を紹介した。また、ポストPGを狙える新素材候補の探索を目的に、昨年度収集した各種県産素材の抗酸化能をH-ORAC法で測定し、抗酸化能が高い有望素材候補を見出した。



「とろみ」化粧水の製造実習（化粧品Ⅰ）



テクスチャー評価実習（化粧品Ⅱ）



錠剤製造（打錠機）実習



グループ発表（健康食品Ⅱ）

美容健康分野技術習得講座の実施状況